

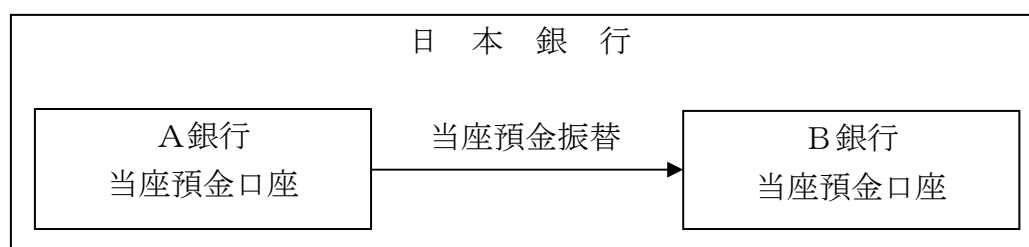
## 「片道ベース」の基本的な考え方

決済動向は、1998年6月公表分（同年4月データ）より、「片道ベース」で計数を集計、公表しています。

「片道ベース」は、各種取引を行った際に生じる実際の資金移動に着目し、それを決済金額・件数として計上する考え方です。

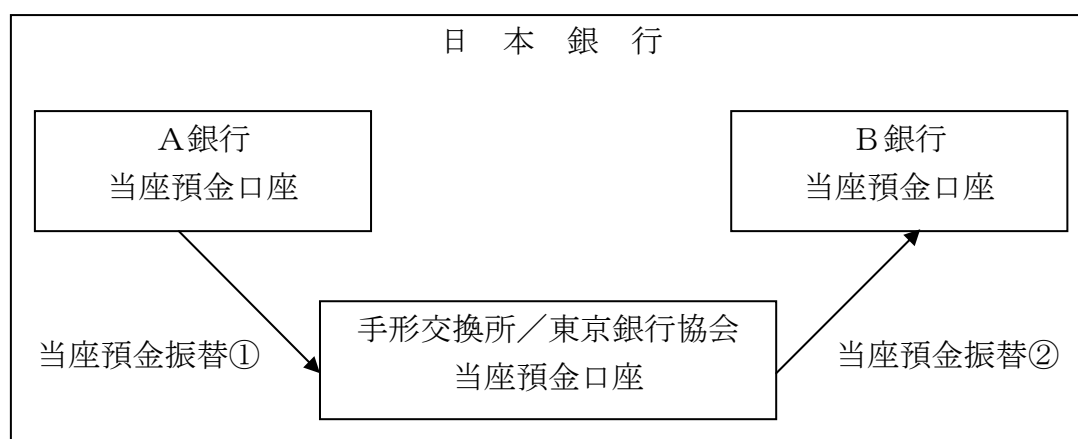
## 【例1：振替】

- ・ A銀行からB銀行への支払（下図「当座預金振替」）の金額・件数を計上します。



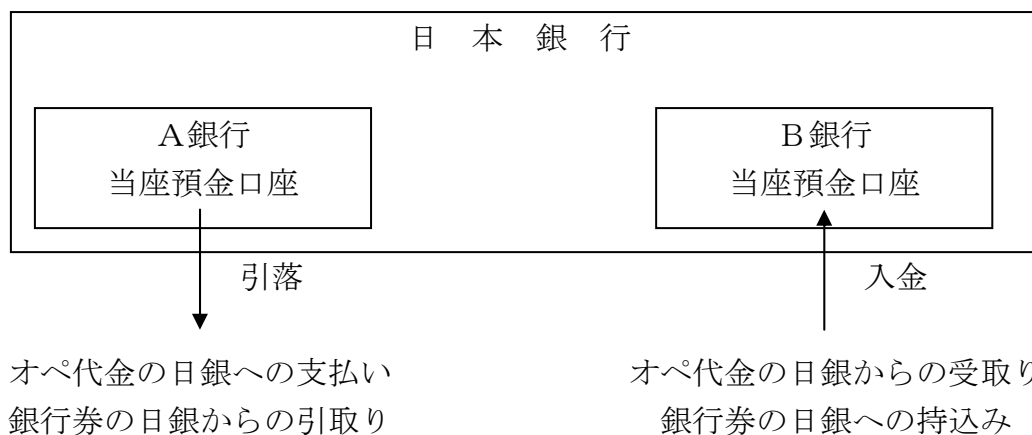
## 【例2：集中決済＜手形交換、内国為替決済＞】

- ・ A銀行（決済尻の支払行）から手形交換所、東京銀行協会への支払（下図「当座預金振替①」）および同交換所、協会からB銀行（決済尻の受取行）への支払（下図「当座預金振替②」）の合計金額・件数を計上します。



【例3：その他<オペ代金の決済、銀行券受払等>】

- その他は、オペや銀行券受払等にかかる当座預金の引落および入金（下図「引落」および「入金」）の合計金額・件数を計上します。



以 上